

平成24年12月議会～平成25年9月議会

黒河内浩の市議会活動報告



黒河内浩 後援会報

No.11

発行所
伊那市美郷上原4592-3
TEL.74-8840
発行責任者 西村秀雄

…ごあいさつ…

全国的に人口が減少し、高齢化社会が進む中で伊那市も決して例外ではありません。その中で東京オリンピックの開催決定、消費税・景気対策問題、TPP等日本の将来を左右するような大きな課題が話題となりました。このような政治・社会状況を踏まえ、将来の伊那市のあるべき姿、進むべき方向性をしっかりと見据えて市政を運営していくことが必要です。

現在議会改革特別委員長として、市民から信頼される議会、開かれた議会を目指して、いくつかの改革を実施してまいりました。今後も市民のみならずとも考え、そして期待に応えて、議員としての職責を果たせるよう頑張っていきたいと思っております。

ホームページをごらんください。 <http://www.kurogouchi.jp/>

※議会一般質問の様子が動画で見ることができます

上伊那広域連合議会議員として、上伊那全体の大きな課題にも取り組んでいます。

広域議会の様子

上伊那8市町村全体で構成している上伊那広域連合では上伊那全体にかかわる重要な課題に取り組んでいます。

特に、「地域医療再生計画」、「上伊那広域消防の一本化」、「新ごみ中間処理施設の整備」や、またリニア新幹線の開業を見据えた道路網の整備が中心となっています。私も広域連合議会の議員として上伊那の全体の問題にも取り組んでいます。



《伊那市の特質ある5つの事業》

医療 伊那中央病院の医療体制の拡充・整備

「救命救急センター」・「研修センター」等施設の増築に着手。総事業費約13億円をかけて、平成25年秋完成しました。最新の医療機器を整備し、上伊那全体の3次救急医療体制を完備することができました。伊那市として完全な医療体制に一步近づいたものと思っております。



増築部分救命救急センター

伊那中央病院
増築工事の終了した

介護 新『介護老人保健施設』が美郷(下県区)に計画

「伊那プラムの里(仮称)」による新しい「介護老人保健施設」の計画が、ナイスロード沿いの美郷地籍(下県区一旧大春化学跡地)に進行中です。現在解体が終了し、来年施設の建設、平成27年4月に開所予定です。地域の高齢者福祉対策に大きく貢献することになります。早期完成に向けて、条件整備等積極的に支援していきたいと思っております。



旧施設 解体中

旧施設 更地状態

防災 伊那消防署の移転建設、上伊那の広域消防化決定

富士塚グランド北側(荒井区)に新消防署を建設します。伊那市はもちろん上伊那全体の防災の拠点ともなります。総事業費は約18億円で、平成27年4月にスタートします。また、上伊那全体を一本化した消防広域化が決定し、新消防署には消防司令センターが設置されます。



建設予定地付近

新消防署 建設予定地

↓裏面につづきます。

教育 新『伊那市子ども・子育て審議会』がスタート

この審議会は、伊那市の子ども・子育て支援の施策全般について政策決定していくための重要な役割を担っています。委員の1人として子育て、家庭教育のあり方、教育問題全般についてしっかりと取り組んでいきます。

統合により新築工事が進む竜東保育園



衛生 新ごみ中間処理施設の整備

1年かけた環境影響評価が終了し、また施設整備基本計画が策定され、年内に地元区である桜井区と北新区の建設合意を得るべく手続きが進行中です。周辺の環境に配慮した施設になるように多くのみなさんの意見を聞いていきたいと思ひます。

平成 25 年一般質問の要旨

【平成24年12月議会】

伊那市第1次総合計画について

一前期5カ年の総括と後期5カ年の計画策定について

①質問内容 前期5カ年の総括として、市長の見解は？

市長答弁 広範囲に事業を実施してきたが、中央病院への救急センターの設置、特老の建て替え、37か所におよぶ「いきいき交流施設」の建設、保育園の統合整備等、特に医療福祉面で充実した政策が実行できた。

②質問内容 後期5カ年計画の策定のポイントは？

「産業の振興」・「雇用の促進対策」・「教育」・「幹線道路網の整備促進」が特に大切であり、この点に重点を置いた5カ年計画を策定していくべきだ。

市長答弁 今後の5カ年計画でも企業誘致は引き続き進めていく。産業振興としては農業の再生と観光に力を入れ、この分野で働く場所の確保に努めたい。また、教育は大切であり、今後5カ年計画でもしっかり取り組み、生きる力をつけていきたい。幹線道路網の整備については、確実に実施していきたい。

改築整備の進む「東部中」。総事業費は約15億円です。



来年は工事の竣工とともに「開校50周年記念式典」を予定しています。



【平成25年6月議会】

合併時に7万4千人あった人口が、今年4月の人口調査では7万人を割るという結果が出ました。

そこでこの6月議会では人口増に向けた市の施策を中心に質問しました。

解体が始まった市民会館と改築が予定されている伊那公民館



①質問内容 若い層の人口を増加させるためにも、Uターンの推進企業誘致に今まで以上に取り組むべきだ。

市長答弁 企業誘致について一企業にはリスク分散から海岸部から内陸へ工場を移転する動きがあり、この点を利用し誘致を推進していきたい。Uターンについて一合併後66世帯83名がUターンしている。今後も情報の提供等積極的に取り組んでいきたい。信大生が就職就農のために伊那に残ってくれる体制づくりをしていきたい。

②質問内容 民間介護福祉施設の新設による雇用も重要だ。新設を支援することも人口増対策になる。

市長答弁 市での補助を検討していきたい。

③質問内容 公民館活動について、活動のあり方を議論していくことを望みたい。

教育長 子供が集うことのできる公民館活動に取り組んでいきたい。

【平成25年9月議会】

「伊那市定員適正化計画」について

定員適正化計画は、平成18年の合併時に伊那市の職員数はどの程度であるべきかを数字で示したものであり、第1次計画では10年間で平成26年までに職員数を20%減少させるとの計画を立ててあります。

そこで、その検証と今後の方針を質問しました。

①質問内容 適正化計画に基づいた職員削減はスリムな自治体運営のために必要だが、順調に進んでいるのか？

市長答弁 削減が予定よりも先行してすすんでいて、財政の健全化が順調に進んでいる。

②質問内容 今後の定員適正化計画の策定方針は。

市長答弁 日常の市民サービスに影響でないだけの職員数としていく。各事業の見直しを実施し、時代の市民ニーズに合うよう効率化を図る。今後毎年多数の定年退職者がでるので、新規採用者を増やし、状況に合わせた対応をしていく。

【平成25年3月議会】

①質問内容 幼保小連携の結果の具体化としてのカリキュラムを早急に作成し実施していくことが必要だ。

市長答弁 連携は確実に効果を挙げている。より有意義な保育体制にしていきたい。

②質問内容 子育てのあり方を審議するための「子ども・子育て会議」を設置すべきだ。

市長答弁 6月議会に条例案を提出し、教育・保育・子育て支援の3本柱を中心とした審議会を設置したい。

教育長 教育委員会も加わり全面的に協力していく。

③質問内容 保育園の民営化方針の意義と目的。

市長答弁 保育全般の資質向上と保護者のニーズに答えたサービス提供を目的とし、市の経費削減のためではない。検討を開始したばかりであり、今後慎重に議論していく。

『保護司』として表彰されました

保護司として犯罪者の改善更生と犯罪予防活動にも取り組んでいます。

10月の長野県更生保護大会にて表彰されました。



『美篤地区安協会長』としても頑張っています

美篤地区交通安全協会会長として、美篤地区はもちろんのこと伊那市全体での交通事故防止活動にも積極的に取り組んでいます。交通事故の被害者にも加害者にもならないように注意しましょう。



後援会活動

後援会として、6月には「議会報告会」、8月には「焼肉パーティー」を実施して後援会員相互の親睦に努めています。

皆様のご意見お待ちしております。

検索サイトから！

黒河内浩

検索

<http://www.kurogouchi.jp/>